

小規模企業景気動向調査

[平成23年5月期調査]

～被災地を除き、業種によっては東日本大震災の影響からやや改善しつつあるものの、全体的に厳しさが続く小規模企業景況～

2011年6月22日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2011年5月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…被災地を除き、業種によっては東日本大震災の影響からやや改善しつつあるものの、全体的に厳しさが続く小規模企業景況…◇

5月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲49.4と前月調査に比べ5.7ptと改善に転じた。また、全業種のすべての項目に関してやや改善が見られた。特に、売上額については製造業に、採算、業況については建設業に、資金繰りについては小売業に、2桁の改善が見られたが、サービス業の改善幅は小さく、全体的に依然として厳しい状態が続いていると言える。

<製造業> ◇…震災による影響から改善が見えつつも、依然として影響が長引く製造業…◇

製造業DIは、▲45.9と前月比で4.0ptと改善に転じた。東日本大震災により部品等の供給不足が続き、操業停止や計画生産を余儀なくされていたが、一部の業種において回復が見られている。しかし、依然として機械製造業や鉄鋼業において部品調達に苦慮しており、受注減から資金繰りが苦しくなっている現状がある。

<建設業> ◇…一部に改善が見られるものの、資材入手困難に改善がなく、苦しむ建設業…◇

建設業DIは、▲58.1と11.3ptの2桁の改善となった。震災復興に関連し、瓦屋根工事業や配管工事業などに今までに無い受注が集中しているが、全体的に見ると、前月と同様に建設資材や住宅資材の不足や値上がりが影響している。

<小売業> ◇…品不足、販売制限から解消なるも、依然として厳しい小売業…◇

小売業のDIは、▲47.8と前月に比べ6.4ptの改善となった。先月まで続いていた品不足は解消され、一部の地域で飲料水や乾電池等の販売制限も解除された。しかし、消費者の購買意欲が下がってきていることや買い控えの影響は続いている。

また、先月発生したO-111による食中毒事件の影響から、牛肉、鶏肉や馬刺しなどの売上が減少し、影響が出始めているところもあり、梅雨の時期を前に今後の売上の低下を危惧する声も多い。

<サービス業> ◇…2月連続で改善したものの、クリーニング業を中心に苦しむサービス業…◇

サービス業DIは、▲45.6と1.5ptの2月連続の改善となった。宿泊業ではゴールデンウィークの稼働状況が良好で、需要の回復があった地域も散見されたが、依然として震災の影響は影を落とし、影響は長引きそうである。また、洗剤や溶剤関連の高騰がクリーニング店を直撃し、新たなマイナスの要因となっている。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲53.1	▲46.9	6.2	▲48.1	▲37.6	10.5	▲59.2	▲50.8	8.4
採算	▲51.3	▲44.9	6.4	▲47.7	▲43.0	4.7	▲66.9	▲55.3	11.6
資金繰り	▲47.4	▲41.9	5.5	▲43.3	▲38.1	5.2	▲64.1	▲58.5	5.6
業況	▲55.1	▲49.4	5.7	▲49.9	▲45.9	4.0	▲69.4	▲58.1	11.3

業種	小売業			サービス業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲52.0	▲47.3	4.7	▲53.0	▲52.0	1.0
採算	▲48.1	▲42.5	5.6	▲42.3	▲38.6	3.7
資金繰り	▲43.7	▲36.5	7.2	▲38.6	▲34.5	4.1
業況	▲54.2	▲47.8	6.4	▲47.1	▲45.6	1.5

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境整備課

〒1050004 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル 8F TEL:03-3503-1256 FAX:03-3580-6577 担当:堀内 雅史